

2016年3月25日

日立LNG基地の営業運転開始と 茨城～栃木幹線の供用開始について

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社（本社：東京都港区、社長：広瀬 道明、以下「東京ガス」）は、茨城港日立港区内において建設を進めていた「日立LNG基地」（以下、「本基地」）の工事を完了し、昨日営業運転を開始するとともに、新たに敷設した高圧ガスパイプライン「茨城～栃木幹線」（以下、「本パイプライン」）の供用を開始しました。本基地と東京湾内の既存3基地*が連携することにより、供給インフラ全体の安定性が向上します。

本基地は、東京ガスとして初めて東京湾外に建設したLNG基地です。また、本パイプラインが完成したことにより、東京ガスは首都圏を中心に950kmの高圧パイプライン網を保有することになります。

東京ガスは、2020年に向けた天然ガスの需要の増加に対応した製造・供給インフラの柱として、LNG船やLPG船の受入設備となる大型栈橋、容量23万klのLNGタンクや熱量調整用のLPGタンク、ガス製造設備などを備えた本基地と、既存のパイプラインである「栃木ライン」（栃木県真岡市）と接続する本パイプラインの建設工事を、2012年より進めていました。

今後は、2020年までに「日立LNG基地2号タンク」の建設を目指します。さらに、既存の「鹿島臨海ライン」（茨城県神栖市）と今後建設を目指す「茨城幹線」を接続し、高圧ガスパイプラインのループ化を更に図ることにより、関東圏全域のエネルギーセキュリティ向上に貢献します。

東京ガスグループは、「チャレンジ2020ビジョン」において「LNGバリューチェーンの高度化」を掲げ、その一環として「エネルギーの安全かつ安定的な供給」を推進しており、今後も更なるエネルギーの安全かつ安定的な供給に努めてまいります。

*：根岸LNG基地（神奈川県横浜市）、袖ヶ浦LNG基地（千葉県袖ヶ浦市）、扇島LNG基地（神奈川県横浜市）。



日立LNG基地



東京ガスの供給エリア概要図

<日立LNG基地の概要>

敷地面積	約10.4万㎡
受入設備	LNG・LPG受入バース、内航船出荷バース
LNGタンク	23万kl（地上式）1基
LPGタンク	5万kl（地上式）1基
LNG気化設備	オープンラック式 3基
LNGローリー 出荷設備	6レーン
着工	2012年7月
竣工	2016年3月

<茨城～栃木幹線の概要>

始点／終点	茨城～栃木幹線：茨城県日立市／栃木県真岡市 栃木ライン（延伸）：栃木県真岡市／同左
圧力／口径	茨城～栃木幹線：7MPa／600mm 栃木ライン（延伸）：7MPa／400mm
全長	茨城～栃木幹線：79.9km 栃木ライン（延伸）：2.9km
着工	2012年1月
竣工	2015年12月